学校番号	1006

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　情報の科学　新訂版（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピューター（ハードウェア、ソフトウェア）やインターネットについて学び、日常使っている機械スマホなどに対して、理解を深めていこう。

２　学習の到達目標

・コンピューターの仕組みやインターネットの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。
・ＧＵＩ，ＣＵＩ　を通して簡単なプログラミングができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・コンピューターの内部（ハードウェア）に興味を持っているか。 ・コンピューターの動作や計算の仕組みに関心を持っているか。 ・インターネットの構成,通信方式や役割による分類に関心を持っているか。 ・プロトコルや情報伝達の仕組みに関心を持っているか。	・コンピューターの構成要素を機能別に分類できるか。 ・コンピューターの動作や計算の仕組みについて論理的に説明できるか。	・情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。 ・プログラミング言語を用いてコンピューターに適切な命令をすることができるか。	・コンピューターのハードウェアやソフトウェアについて理解しているか。 ・プロトコルや情報伝達の仕組みを理解しているか。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 実習作品 レポート、発表 定期考査 等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 レポート、発表 定期考査 等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 課題作品 発表 実技テスト 等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 定期考査 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報とコンピューター	○コンピューターの仕組み ○情報の表し方 ○コンピューターが計算する仕組み ○アルゴリズム	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:コンピューターの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報をディジタル化して表現することの利点について考えることができる。 c:フローチャートを用いてプログラムを作成することができる。また、作成したものを編集し、制御することができる。 d:コンピューター内部の構造や情報処理の仕組みを理解している。	授業観察 実習作品 ワークシート 定期考査
2学期	ネットワークの仕組みと情報システム	○ネットワークの仕組み ○情報システム	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:インターネットの仕組みに関心を持とうとしている。 b:インターネットでどのように通信がおこなわれているか考えている。 c:インターネットや情報機器を活用することができる。 d:インターネットの仕組みについて正しい知識を持ち、理解している。	ワークシート 実習作品 授業観察 定期考査
3学期	問題解決のためのコンピューター活用	○問題解決 ○モデル化とシミュレーション	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。 b:問題解決のためのさまざまな方法を考え、目的に応じて、適切な解決方法を選択することができる。 c:問題解決のための、さまざまな技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。 d:基本的なアプリケーションを理解している。	ワークシート 実習作品 授業観察

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解